

I. 建学の精神・大学の基本理念、使命・目的、大学の個性・特色等

1. 建学の精神・大学の基本理念

本学の建学の精神は「人それぞれに天職に生きる」である。

創立当初の10数年間は、現在の実践綱領である「独立と自由」「創造と奉仕」「遵法と敬愛」を建学の精神としていた。創立者である福山重一は、「人間は詳細に自己を分析し自己理解を図り、さらには仕事の内容と現代社会を分析して自己の向かうべき方向を模索し、そしてその方向において自ら経験してみることが求められる。次にこのようにして自己が決定した仕事に就いても、それが自己に適するか否か吟味する必要がある。ここで自己が納得すれば、さらに進んで生き甲斐を得ることができる。これよりして人間はそれぞれに天職を見つけ、その天職によって生きることが真の人権の確立となり、これが人間の最高の理想である」と考え、この人権の確立と人間の最高の理想を追求するために展開される現象を「職業指導」と説き、これを「人それぞれに天職に生きる。ここに職業指導学は存する」と要約して建学の精神に据えた。なお、平成17(2005)年度の理事会において、この後段を削除している。

本学の建学の精神は、近年の文部科学省の方針とも一致している。文部科学省は設置基準を改正して平成23(2011)年度より大学や短期大学の教育課程に「職業指導」を盛り込むことを義務付けたが、本学では創立時代から築き上げてきた職業指導学の精神と実績を有している。これらをさらに発展させ、現代の大学教育に求められているキャリア教育に活かしていく。

2. 使命・目的

本学の使命・目的は、豊かな教養と人間性を身につけ、生きがいを持って社会に貢献できる人材を育成することである。そのために、建学の精神に併せて実践綱領として「独立と自由」「創造と奉仕」「遵法と敬愛」を謳い、本学の教育に反映させてきた。学則第1条において、「本学は教育基本法に則り、学校教育法の定めるところに従い、『人それぞれに天職に生きる』の建学の精神のもとで、教育に必須な学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させ、健全な平和社会に寄与貢献する有為の人材を育成することを目的とする」と明確に定めている。

時代とともに学生たちの気質も、求めるものも変わってきているが、一人ひとりに与えられた才能や能力を見出し、伸ばす教育を実践し、社会に貢献できる人材を育成することが建学以来、本学の変わらぬ使命である。本学伝統の手厚い少人数制により、きめの細かい学生指導と、個々人に合わせた能力開発・人材育成計画を実践している。豊かな教養と人間性を身につけ、自立し、社会に貢献できる力、具体的には、考えて行動し、チーム力を大切にする、目に見えない学力を「人間力」と位置づけ、社会で即戦力となる「人間力」を備えた人材の育成こそ時代の要請であり、本学の目的である。

3. 個性・特色等

本学は昭和39(1964)年、福山重一により、教育学部「教育学科」の単科大学として創設された。以後、「産業教育学科」「英語英文学教育科」「児童教育学科」を増設し、昭和43(1968)

年には大学院（修士課程・博士課程）を設置した。創立者福山重一の教育方針は多くのオーナー経営者層から支持され、富裕層の子弟を集めたことで、ほかの大学とは趣を異にする設備と環境を整えた。その教育の成果により、これまでに数多くのオーナー経営者を輩出している。平成 19(2007)年度から、従来の「教育学部」を「臨床教育学部」と「経営教育学部」の 2 学部 4 学科制に変更した。学科の再編を経て、平成 25(2013)年度より臨床教育学部「教育学科」および「児童教育学科」、経営教育学部「経営教育学科」の 2 学部 3 学科制となっている。

本学の主な個性・特色としては、少人数教育による「人間力」の育成、多彩な専門教育、教育研究機能を活かした社会貢献と連携があげられる。

1) 少人数教育による「人間力」の育成

学生一人ひとりの個性や能力、適性に応じた指導を可能にするのが本学伝統の少人数教育であり、複数担任制である。「基礎演習」と「専門演習」の担当教員と、スポーツ教育・教職教育支援・国際交流の各センター、教務部・学生部・就職部の教職員が、いつでも学生からの相談に対応できる体制を整えている。学長のリーダーシップのもと、学生一人ひとりの顔が見える、面倒見のよい大学として、全教職員が学生指導に努力している。このような支援システムの中で、「教職教育」「経営教育」「スポーツ教育」そして「キャリア教育」を展開し、「人間力」を育成している。特にキャリア教育については、入学段階から職業について学ぶ機会を与えるとともに、学年進行で職業にアクセスする機会を増やして就職支援を充実させている。

2) 多彩な専門教育

本学を構成する臨床教育学部と経営教育学部は、それぞれ以下のように多彩なコースを設置し、専門教育を実施している。

臨床教育学部教育学科では、教育学、心理学、スポーツ教育、国際教養学、ダンス（平成 28(2016)年度開講）の 5 つのコースがある。コースにかかわらず、社会、英語、保健体育の中学校教諭一種免許状、公民、英語、保健体育の高等学校教諭一種免許状を取得することができる。

臨床教育学部児童教育学科では、幼児・児童教育と特別支援教育の 2 つのコースがあり、コースによって、幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）を取得することができる。

経営教育学部経営教育学科では、経営マネジメント、技術・情報教員養成、自動車技術、バレエ、観光・航空ビジネスの 5 つのコースがある。技術・情報教員養成コースでは技術の中学校教諭一種免許状、情報の高等学校教諭一種免許状を取得することができる。

教育職員免許状以外にも、コースによって、認定心理士、2 級自動車整備士等さまざまな資格を取得することができ、各種検定の受験指導も行っている。このように、多彩なコースと専門教育を用意することで、学生は広い視野を持ちながら自分の適性を見極め、将来の進路を選択することができる。

なお、本学では上記のとおり、多種の教員免許状を付与しているが、大学院においても専攻によって、幼稚園・小学校・中学校（社会・英語・技術・職業指導）・高等学校（地理